

2026年度

国立情報学研究所
公募型共同研究

募集要項

大学共同利用機関法人
情報・システム研究機構

国立情報学研究所

目次

1. 趣旨	3
2. 募集する共同研究の種類.....	3
(1) 戦略研究公募型【戦略】	3
(2) 研究企画会合公募型【会合】	4
(3) 自由提案公募型【自由】	4
3. 申請者（研究代表者）の要件	5
4. 共同研究者の要件	5
5. 研究期間.....	5
6. 申請方法.....	5
7. 申請にあたっての同意事項	6
8. 申請書の提出期限.....	6
9. 選考方法及び選考結果の通知	6
10. 共同研究経費	7
(1) 戦略研究公募型【戦略】	7
(2) 研究企画会合公募型【会合】	7
(3) 自由提案公募型【自由】	7
11. 研究成果の取扱い.....	8
12. 研究成果報告	8
13. 外部発表における謝辞.....	9
14. 秘密保持義務	9
15. その他（注意点）	9
16. 採択後の共同研究者に係る変更	9
17. 担当連絡先.....	10

1. 趣旨

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立情報学研究所(以下、「本研究所」という。)は、大学共同利用機関として、わが国の情報学分野での「未来価値創成(学術創成)」を目指し、国内外の大学及び研究機関の研究者との共同研究を推進しています。

近年、情報学には、人と社会に今までにない実価値を生み出す新しい理論、方法論、応用展開(未来価値)が求められています。そのような研究の更なる推進と他の学問分野との連携による研究の開拓を進めるため、共同研究を募集します。

この度、募集を行う共同研究は、本研究所外の大学等に所属する研究者が申請者(研究代表者)となり、本研究所内の教員と連携して情報学に関する研究を行うものです。

若手研究者、女性研究者、地方大学の研究者の皆様のご応募も歓迎いたします。

また、国際連携の推進のため、共同研究者に海外機関所属の研究者を含む共同研究(以下、「国際共同研究」という。)を特に推奨いたします。

2. 募集する共同研究の種類

本研究所が募集する共同研究は後述の3種類です。

趣旨に照らし、いずれの共同研究の場合も以下の点に留意してください。

- ① 本研究所の教員を共同研究者として含むことを推奨いたします。
- ② 共同研究者のいない単独申請は避けていただくようお願いいたします。
- ③ 本研究所の教員1名を連絡担当教員(当該共同研究の指導・助言等を行います)として指定してください。(共同研究者となる本研究所の教員であることが望ましい。)
 - * 本研究所の教員情報については、「国立情報学研究所教員情報(別紙1)」をご覧ください。
 - * 連絡担当教員の選定が難しい場合には、[17.担当連絡先](#)に記載の連絡先までご相談ください。
- ④ 連絡担当教員が決定した後に、申請前に連絡担当教員と打合せを行い、必ず研究実施の承諾を得てください。
 - * 承諾を得ていないことが判明した場合は、採択を取り消すことがあります。
- ⑤ 本共同研究は単年度での実施とします。
- ⑥ 本共同研究の成果を国際共著論文や国際学会において発表いただくことを推奨いたします。また、本共同研究をステップとして、以降は競争的資金(科学研究費助成事業、各省庁実施の競争的資金、その他財団等の助成金等)の獲得へ繋げていただきますようお願いいたします。

(1) 戦略研究公募型【戦略】

- ・ 年間上限：120万円、ただし、国際共同研究は140万円※

情報学の動向を踏まえて本研究所が戦略的に設定した研究テーマ(11テーマ)から希望の研究テーマを選択の上、具体的な研究課題を自由に設定してください。研究テーマについては、「戦略研究テーマ一覧(別紙2)」をご覧ください。

※ 戦略研究公募型の共同研究経費の上限は原則120万円とします。ただし、国際共同研究(共同研究者に海外機関所属の研究者を含む共同研究)に該当する申請については、共同研究経費の上限を140万円とします。共同研究経費の使途については、[10. 共同研究経費](#)をご覧ください。

(2) 研究企画会合公募型【会合】

・年間上限：80万円

下記の少なくとも一つを満たす新規の研究課題を自由に設定し、会合(交流会、議論、実習、打合せ等)を実施してください。情報学研究の枠組に拘らず、研究課題を自由に設定してください。

- 異分野と情報学との連携
- 情報学同士の連携強化
- 情報学の難問に挑戦する新たなグランドチャレンジ

会合は、最低1回は本研究所の軽井沢国際高等セミナーハウス(後述参照)にて、共同研究者5名以上で実施することができます。また、必要に応じて更に本研究所にて同様の会合を実施することができます。ただし、感染拡大の状況となった場合には、その限りではありません。

共同研究経費の上限は80万円とします。共同研究経費の使途については、[10. 共同研究経費](#)をご覧ください。

なお、幅広い検討を行う観点から、類似する研究課題を合同で採択し、会合を実施していただくことがあります。

軽井沢国際高等セミナーハウス

本研究所の初代所長である猪瀬博氏の寄附を基に、閑静な軽井沢の地に設立された、学際的で国際的な討論と思索の場です。定員40名のセミナー室と10名が宿泊できる部屋があります。(追加ベッドにより15名まで宿泊可能)

他の共同研究等の会合実施場所としても是非ご活用ください。

住所：長野県北佐久郡軽井沢町 大字軽井沢字長倉往還南原1052-471

URL：<https://www.nii.ac.jp/about/seminar-house/>

国立情報学研究所

住所：東京都千代田区一ツ橋2-1-2

URL：<https://www.nii.ac.jp/about/access/>

(3) 自由提案公募型【自由】

・年間上限：80万円、ただし、国際共同研究は100万円※

研究課題を自由に設定し、実施してください。

※ 自由提案公募型の共同研究経費の上限は原則80万円とします。ただし、国際共同研究(共同研究者に海外機関所属の研究者を含む共同研究)に該当する申請については、共同研究経費の上限を100万円とします。共同研究経費の使途については、[10. 共同研究経費](#)をご覧ください。

3. 申請者（研究代表者）の要件

- ① 国内の研究機関（大学・短期大学・高等専門学校及び大学共同利用機関等）に所属する研究者並びにこれらに準ずる研究者、大学院生（ただし、社会人大学院生に限ります）
- ② ①以外の国内の公法人または非営利法人に所属する研究者

4. 共同研究者の要件

- ① 国内外の研究機関（大学・短期大学・高等専門学校及び大学共同利用機関等）に所属する研究者並びにこれらに準ずる研究者、大学院生（大学の学部生及び高等専門学校の学士・准学士は含みません）
- ② その他国内の法人（民間企業等を含む）に所属する研究者

5. 研究期間

2026年4月1日から2027年3月31日までとします。

6. 申請方法

「2026年度 国立情報学研究所公募型共同研究 申請書（様式1）」を、別添の記入要領を参照の上、作成してください。申請書は、「共同利用・共同研究高度化支援システムJROIS」（以下「JROIS」という。）を用いて電子申請にてご提出いただきます。

申請書の作成にあたっては、必ず事前に所属機関代表者の承諾を得てください。

＊所属機関代表者の承諾が難しい場合は、所属長等の承諾に代えて申請書を提出することができます。ただし、その場合は、後日所属機関代表者が本共同研究を実施することについて承諾していることが分かる確認書を提出いただく場合があります。

＊事前に本研究所の連絡担当教員と研究内容や方法等に関して十分に打合せを行ってください。

JROIS: <https://jrois2.rois.ac.jp/>

＊申請書（様式1）の電子データ（Microsoft Word文書）をJROISにアップロードしてご提出ください。

＊JROISの利用に当たってはアカウント登録が必要です。

＊操作については、上記ページに掲載のユーザ向けマニュアルをご参照願います。

※ 全体の流れ（事前準備～研究成果に関する追加調査）については別紙3をご参照ください。

7. 申請にあたっての同意事項

申請者(研究代表者)は申請する研究課題について、下記事項に同意した上で申請してください。

また、申請者(研究代表者)は当該研究課題に参画する全ての共同研究者(連絡担当教員を含む)が下記事項を順守するよう留意してください。ただし、海外の共同研究者に対しては、以下の④、⑤について対応する英語版の通読あるいは受講を可能な限り実施するよう要請してください。

- ① 個人情報、公にすることが予定されていない情報等、情報の取扱いについては、法令等に従い、自らの責任において適正に行うこと。
- ② 上記の他、自らの研究を遂行するにあたっては、関係諸規程を遵守し、社会的に必要とされる措置を講じること。
- ③ 「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)」(平成19年2月15日文科科学大臣決定、令和3年2月1日改正)を踏まえ、学術研究に対する国民の負託及び共同研究経費が国民の貴重な税金で賄われていることを十分認識し、共同研究経費を適正かつ効率的に使用するとともに、研究において不正行為を行わないことを約束すること。
- ④ 本共同研究開始前までに、下記事項を確実に実施すること。
 - i. 文部科学省が指定する研究倫理教育教材(科学の健全な発展のために―誠実な科学者の心得―日本学術振興会「科学の健全な発展のために」編集委員会)の通読(*1)
 - ii. 一般財団法人公正研究推進協会(APRIN)提供研究倫理教育eラーニングの履修(*2)
または「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」(平成26年8月26日文科科学大臣決定)を踏まえ、所属機関が実施する研究倫理教育を履修
 - iii. また、必要に応じて所属機関内の研究倫理審査委員会等において研究計画及び研究実施の承認を得ること。
(*1)<https://www.jsps.go.jp/j-kousei/rinri.html>
(*2)<https://edu.aprin.or.jp/>
- ⑤ 本共同研究開始前までに、所属機関が実施する安全保障貿易管理にかかる研修等を受講、もしくは経済産業省が公開している安全保障貿易に係る「大学・研究機関の教職員向けeラーニング」(*3)を受講し、法令等に従うこと。
(*3)<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/daigaku/el/elindex.html>

8. 申請書の提出期限

2025年12月3日(水) 正午

Microsoft Word形式の電子データをJROIS(<https://jrois2.rois.ac.jp/>)にアップロードしてください。

9. 選考方法及び選考結果の通知

書面審査結果に基づき、本研究所 共同利用委員会の審議を経て所長が決定します。

* 国際共同研究については、審査に当たって国際性を加味した評価を行います。
選考結果は、2026年3月末までに、JROISを通じて申請者(研究代表者)に通知します。

10. 共同研究経費

共同研究者間の連携強化、研究成果及び情報収集の充実に重点を置き、各公募型共同研究の目的に合わせ、共同研究経費の使途は下記の通り限定します。

(1) 戦略研究公募型【戦略】(年間上限：120万円、ただし、国際共同研究は140万円)

- 旅費
- 学会等参加に係る経費（注1）
- 論文投稿・掲載料等（注2）
- その他経費（注3）

(2) 研究企画会合公募型【会合】(年間上限：80万円)

- 会合に伴う旅費
- 招待講演者への謝金支払（オンライン講演も含む）

(3) 自由提案公募型【自由】(年間上限：80万円、ただし、国際共同研究は100万円)

- 旅費
- 学会等参加に係る経費（注1）
- 論文投稿・掲載料等（注2）
- その他経費（注3）

(注1)

支払対象： 学会等参加費

抄本・予稿集等にかかる費用

条件： 本共同研究の成果発表、本共同研究に係る情報収集によるものであること

(注2)

支払対象： 論文投稿・掲載料（プレプリントサーバへの論文掲載料を含む）

英文校閲料

条件： 本共同研究によるものであることが明示された論文であること

英文校閲料には下記目的のものも含む

- プレプリントサーバへの論文掲載
- オープンソフトに関するマニュアル作成等

出版を行うための費用は支出できません。

(注3)

その他経費として、以下の支払対象に限定して支出を可とします。

- オープンソフトに関するマニュアル作成費
- データセット構築に要する費用
- オンライン会議ツールのライセンス料
- 会議室借料(使用目的に照らして適切な内容とする)
- NII研究クラウド利用料・学術・商用クラウド利用料
- 本共同研究による実験や成果発表のための通信・運搬費
(ネットワーク利用料を含む)
- 招待講演者への謝金支払(オンライン講演も含む)

- ※ 支払(契約)期間は単年度とします。
- ※ 上記の事由に関連した内容であれば、謝金の支払も可とします(当該共同研究の共同研究者への支出は不可)。
- ※ 消耗品を含む物品の購入に関する費用は本共同研究経費から支出できません。
- ※ 複数の共同研究経費や他の競争的資金を合算して使用はできません。
- ※ 共同研究経費の管理及び執行は、本研究所の連絡担当教員が行います。申請者(研究代表者)や共同研究者の所属機関への経費配分は行いません。
予算執行は本研究所の連絡担当教員と協議の上、計画的に行ってください。
- ※ 旅費は往復の交通費、日当、宿泊費を含み、本研究所の規程・ルールに従い支払われます。

1 1. 研究成果の取扱い

共同研究の実施に伴い生じた知的財産権の帰属については、下記の通り定めるものとします。

- ① 申請者(研究代表者)または共同研究者いずれかが単独で成した成果は、その成果を成した者ないしその所属機関に単独に帰属するものとします。
- ② 申請者(研究代表者)または共同研究者が共同で成した成果は、その成果を成した者ないしその所属機関の共有とします。

1 2. 研究成果報告

共同研究終了後、成果報告書をJROISにアップロードする形で提出してください。

- 提出期限： 2027年6月18日(金)まで
様式名： 「2026年度 国立情報学研究所公募型共同研究 成果報告書(様式2)」
データ形式： Microsoft Wordファイル

- ※ 本共同研究でスタートを切っていただき、以降のステップとして競争的資金の応募・獲得、国際共著論文や国際学会における発表へ繋げていただきたく、状況を成果報告書に記載いただきます。また、競争的資金の獲得状況をはじめ、その他の成果に関しては、2027年9月～10月頃に追加調査を行う予定です。
- ※ 様式2は案であるため変更される可能性があり、研究期間終了後に正式版の電子データを提示します。
- ※ 提出された報告内容は、本研究所のWebサイトや年報に掲載するほか、広報誌等にも掲載することがあります。

1 3. 外部発表における謝辞

研究成果を本研究所以外に発表する場合は、本研究所の助成による共同研究であることを必ず論文等内に明示してください。

【謝辞文例(日本語)】

「この研究は2026年度国立情報学研究所公募型共同研究(採択番号)の助成を受けています。」

【謝辞文例(英語)】

“The research was supported by ROIS NII Open Collaborative Research 2026-(Grant Number).”

1 4. 秘密保持義務

共同研究の実施に伴い、研究所から秘密である旨を明示して開示を受けまたは知り得た情報については、既に自己が保有していたまたは既に公知となった情報、開示を受けまたは知得した後に自己の責めによらず公知となった情報、本研究所から同意を得た情報を除き、共同研究終了後2年間秘密を保持しなければなりません。

なお、より詳細な取決めが必要な場合は、別途協議します。

1 5. その他(注意点)

申請書の記載に際しては下記事項に注意してください。

- ① 申請書に記載した内容の一部に誤り等がある場合、特に所属機関の承諾・確認が得られなかった、事前に連絡担当教員の承諾を得ていなかった等の場合は、採択の決定後といえども、本研究所の判断により当該共同研究を中止または共同研究者の受入を中止することがありますので、予めご了承ください。
- ② 申請書に記載した個人情報は、情報・システム研究機構個人情報保護規程に基づき、適切に保管／廃棄いたします。また、申請が採択された場合は本研究所Webサイトに申請者(研究代表者)氏名、所属機関及び研究課題名を掲載いたします。

1 6. 採択後の共同研究者に係る変更

共同研究者に係る変更が発生する場合は、必ず事前に「17. 担当連絡先」のE-mail宛に電子データ(Microsoft Word ファイル)をお送りいただく形で、下記の通り手続きしてください。

- ① 採択後に共同研究者の追加・削除を行う場合：様式3「共同研究者 追加・削除登録申請書」
- ② 申請者(研究代表者)もしくは共同研究者の所属先や職名が変更になった場合：
様式4「研究者の所属・職名 変更登録申請書」

1 7. 担当連絡先

本共同研究の詳細についての問合せ、申請書の提出、研究成果論文・発表内容の連絡、報告書の提出に関する問合せは下記の連絡先へお願いいたします。

【連絡先】

〒101－8430 東京都千代田区一ツ橋2－1－2

国立情報学研究所 総務部 研究推進課 産学連携・知財チーム 公募型共同研究担当

E-mail: kyoudou@nii.ac.jp

TEL: 03－4212－2139

※募集要項及び申請書等の様式は、本研究所Webサイトからダウンロードできます。

URL: <https://www.nii.ac.jp/research/collaboration/koubo/>

国立情報学研究所教員情報

本研究所の教員は、情報学プリンシプル研究系、アーキテクチャ科学研究系、コンテンツ科学研究系、情報社会相関研究系のいずれかに属しています。

【参考】国立情報学研究所 - 研究者紹介 : <https://www.nii.ac.jp/faculty/>

【情報学プリンシプル研究系 16 名】

	研究者名	専門分野	e-mail ドメインはいずれも @nii.ac.jp
		研究者紹介 URL	
1	宇野 毅明 教授	数理計画、離散アルゴリズム、データ構造、組合せ最適化 https://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/uno_takeaki/ 【研究紹介動画あり】	uno
2	河原林 健一 教授	離散数学におけるグラフ彩色問題、グラフ構造理論とアルゴリズム、ネットワークフローとパス問題 https://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/kawarabayashi_kenichi/ 【研究紹介動画あり】	k_keniti
3	武田 英明 教授	人工知能、設計学 https://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/takeda_hideaki/	takeda
4	根本 香絵 特任教授	量子計算、量子技術、量子光学、理論物理学 https://researchmap.jp/nemoto?lang=en	nemoto
5	吉田 悠一 教授	性質検査、準線形時間アルゴリズム、制約充足問題、近似アルゴリズム https://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/yoshida_yuichi/	yyoshida
6	杉山 鷹人 准教授	機械学習・データマイニング https://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/sugiyama_mahito/ 【研究紹介動画あり】	mahito
7	添田 彬仁 准教授	量子アルゴリズム、理論物理学、量子系操作技術 https://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/soeda_akihiro/	soeda
8	平原 秀一 准教授	計算量理論、平均時計算量、回路最小化問題 https://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/hirahara_shuichi/	s_hirahara
9	松本 啓史 准教授	量子統計推測、量子情報、量子計算、情報幾何、学習理論 https://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/matsumoto_keiji/	keiji
10	ヴェルニッツ フィリップ 助教	アルゴリズム、細粒度計算量、文字列問題、数え上げ問題 https://phpre.github.io/	wellnitz
11	黒岩 稜 助教	組合せ最適化、探索アルゴリズム、汎用ソルバ、自動計画 https://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/kuroiwa_ryo/	kuroiwa
12	小林 泰介 助教	知能ロボット、機械学習、データ駆動型制御、ヒューマンロボットインタラクション https://tk.prinlab.org/	kobayashi
13	佐藤 竜馬 助教	グラフニューラルネットワーク、最適輸送、推薦システム https://joisino.net/	rsato

14	志垣 俊介 助教	知能ロボット、神経行動学、データ駆動型制御、システム同定、メカトロニクス	shigaki
		https://sshigaki.jimdofree.com/	
15	藤井 海斗 助教	組合せ最適化、機械学習	fujiiik
		https://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/fujii_kaito/	
16	渡邊 知樹 助教	ソフトウェア検証、プログラム検証、応用圏論	kazukiwatanabe
		https://group-mmm.org/~kazuki/	

【アーキテクチャ科学研究系 18 名】

	研究者名	専門分野	e-mail ドメインはいずれも @nii.ac.jp
		研究者紹介 URL	
1	合田 憲人 教授	クラウドコンピューティング、Internet of Things (IoT)、並列分散計算	aida
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/aida_kento/ 【研究紹介動画あり】	
2	金子 めぐみ 教授	無線通信工学、無線資源割当、移動体通信システムのためのプロトコル設計	megkaneko
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/kaneko_megumi/ 【研究紹介動画あり】	
3	栗本 崇 教授	通信ネットワークアーキテクチャ、システムアーキテクチャ	tkurimoto
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/kurimoto_takashi/ 【研究紹介動画あり】	
4	鯉渕 道紘 教授	相互結合網、計算機アーキテクチャ、近似光コンピューティング	koibuchi
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/koibuchi_michihiro/ 【研究紹介動画あり】	
5	五島 正裕 教授	コンピュータアーキテクチャ、デジタル回路技術	goshima
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/goshima_masahiro/	
6	佐藤 周行 教授	インターネットトラスト工学、アクセス制御	schuko
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/sato_hiroyuki/	
7	高倉 弘喜 教授	サイバーセキュリティ、ネットワーク	takakura
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/takakura_hiroki/	
8	竹房 あつ子 教授	並列・分散処理、クラウド基盤技術、インタークラウド技術、サイバーフィジカルシステム、Internet of Things (IoT)	takefusa
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/takefusa_atsuko/	
9	蓮尾 一郎 教授	基盤ソフトウェア	hasuo
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/hasuo_ichiro/	
10	福田 健介 教授	コンピュータネットワーク、時系列解析、ネットワーク科学	kensuke
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/fukuda_kensuke/	
11	石川 冬樹 准教授	ソフトウェア工学、機械学習工学、自律・スマートシステム	f-ishikawa
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/ishikawa_fuyuki/	

12	坂根 栄作 准教授	認証認可基盤、グリッドコンピューティング	sakane
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/sakane_eisaku/	
13	関山 太朗 准教授	プログラミング言語、プログラム検証	sekiyama
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/sekiyama_taro/	
14	藤原 一毅 准教授	研究データ基盤システム、クラウドコンピューティング、 計算機アーキテクチャ	ikki
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/fujiwara_ikki/	
15	北川 直哉 准教授	ネットワークサービス、情報セキュリティ、情報ネットワーク	kitagawa
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/kitagawa_naoya/	
16	青木 俊介 助教	自動運転システム、サイバーフィジカルシステム、分散ネットワーク、 車両通信	aoki
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/aoki_shunsuke/	
17	加藤 弘之 助教	データ工学	kato
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/kato_hiroyuki/	
18	清水 さや子 助教	認証認可、情報セキュリティ、システム運用、データサイエンス	smz
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/sayako_shimizu/	

【コンテンツ科学研究系 21 名】

	研究者名	専門分野	e-mail ドメインはいずれも @nii.ac.jp
		研究者紹介 URL	
1	相澤 彰子 教授	テキスト理解、知識獲得、文書解析、自然言語インタフェース	aizawa
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/aizawa_akiko/ 【研究紹介動画あり】	
2	北本 朝展 教授	ビッグデータ解析、人文情報学、地球環境情報学、オープンサイエンス	kitamoto
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/kitamoto_asanobu/	
3	佐藤 いまり 教授	コンピュータビジョン、コンピュータグラフィクス、 イメージ・ベースド・モデリング・レンダリング、複合現実感	imarik
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/sato_imari/	
4	佐藤 真一 教授	情報学	satoh
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/satoh_shinichi/	
5	杉本 晃宏 教授	コンピュータビジョン、ヒューマン・コンピュータ・インタラクション、 アルゴリズム、類似画像検索	sugimoto
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/sugimoto_akihiro/	
6	高須 淳宏 教授	データ工学、データマイニング、推薦システム、CPS	takasu
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/takasu_atsuhiro/	
7	プレンディンガー ヘルムト 教授	擬人化キャラクタ、マルチメディア、 マルチモーダルプレゼンテーションシステム、生理的相互システム	helmut
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/prendinger_helmut/	

8	山岸 順一 教授	音声情報処理、深層学習、機械学習、生体認証、生体検知	jyamagis
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/yamagishi_junichi/ 【研究紹介動画あり】	
9	山地 一禎 教授	学術コンテンツのメタデータ化と共有、学術コミュニティ形成プラットフォーム	yamaji
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/yamaji_kazutsuna/ 【研究紹介動画あり】	
10	アンドレス フレデリック 准教授	集合知、フードデータサイエンス、ヒューマンストレスモニタリング	andres
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/andres_frederic/	
11	池畑 諭 准教授	コンピュータビジョン、三次元復元、フォトメトリックステレオ	sikehata
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/ikehata_satoshi/ 【研究紹介動画あり】	
12	片山 紀生 准教授	計算機科学、情報工学(データベースシステム)	katayama
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/katayama_norio/	
13	金澤 輝一 准教授	情報工学(情報検索)	tkana
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/kanazawa_teruhito/	
14	児玉 和也 准教授	電子情報工学(パターンメディア:画像工学)	kazuya
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/kodama_kazuya/	
15	込山 悠介 准教授	研究データ基盤、リサーチデータマネジメント(RDM)、セマンティックWeb、バイオインフォマティクス	komiyama
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/komiyama_yusuke/	
16	小山 翔一 准教授	音響信号処理、空間音響、物理に基づく機械学習、逆問題、アクティブ制御	skoyama
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/koyama_shoichi/	
17	浅野 祐太 助教	Physics-based コンピュータビジョン、形状推定	asanoy
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/asano_yuta/	
18	栗田 修平 助教	視覚と言語モデル、画像、三次元データおよびロボティクスへの言語グラウンディング、実世界での言語理解	skurita
		https://shuheikurita.github.io/	
19	菅原 朔 助教	自然言語処理、計算言語学、自然言語理解	saku
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/sugawara_saku/	
20	孟 洋 助教	情報工学	mo
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/mo_hiroshi/	
21	黄 浪 助教	コンピュータビジョン、深層学習、自己改善型機械学習、マルチモーダル基盤モデル	lang
		https://layneh.github.io/	

【情報社会相関研究系 13 名】

	研究者名	専門分野	e-mail ドメインはいずれも @nii.ac.jp
		研究者紹介 URL	
1	新井 紀子 教授	遠隔教育(システム開発、教育)、数理論理学	arai
		https://www.nii.ac.jp/faculty/society/arai_noriko/ 【研究紹介動画あり】	
2	越前 功 教授	マルチメディアセキュリティ、マルチメディアフォレンジクス、 バイオメトリクス、プライバシー	iechizen
		https://www.nii.ac.jp/faculty/society/echizen_isao/ 【研究紹介動画あり】	
3	佐藤 一郎 教授	分散システム、プログラミング言語、ネットワーク	ichiro
		https://www.nii.ac.jp/faculty/society/satoh_ichiro/	
4	孫 媛 教授	心理統計学、教育工学(ラーニング・アナリティクス、個別化学習支援)、 ビブリオメトリクス	yuan
		https://www.nii.ac.jp/faculty/society/sun_yuan/	
5	岡田 仁志 准教授	電子通貨体制論、地域情報政策論、電子商取引論	okada
		https://www.nii.ac.jp/faculty/society/okada_hitoshi/ 【研究紹介動画あり】	
6	後藤田 洋伸 准教授	コンピュータ・グラフィックス	gotoda
		https://www.nii.ac.jp/faculty/society/gotoda_hironobu/	
7	西澤 正己 准教授	計量情報学、情報システム学、宇宙線物理学	nisizawa
		https://www.nii.ac.jp/faculty/society/nishizawa_masaki/	
8	船守 美穂 准教授	高等教育政策、学術情報流通政策、大学マネジメント、オープンサイエンス 海外大学事情を miho チャンネルにて配信中！< https://rcos.nii.ac.jp/miho/ >	funamori
		https://www.nii.ac.jp/faculty/society/funamori_miho/	
9	古川 雅子 准教授	教育工学	furukawa
		https://www.nii.ac.jp/faculty/society/furukawa_masako/ 【研究紹介動画あり】	
10	坊農 真弓 准教授	社会言語科学、会話情報学、手話学	bono
		https://www.nii.ac.jp/faculty/society/bono_mayumi/ 【研究紹介動画あり】	
11	水野 貴之 准教授	複雑ネットワーク科学、経済物理学、計算社会科学、社会科学へのビッグ データ応用	mizuno
		https://www.nii.ac.jp/faculty/society/mizuno_takayuki/	
12	加藤 誠 准教授	情報検索、情報検索アルゴリズム、情報アクセスシステムの評価	mpkato
		https://www.nii.ac.jp/faculty/society/kato_makoto/	
13	植木 浩一郎 助教	ニューラルネットワーク、遺伝的アルゴリズム、次世代学術情報システム	ueki
		https://www.nii.ac.jp/faculty/society/ueki_kouichirou/	

戦略研究テーマ一覧(11テーマ)

1. 学術研究プラットフォームの発展に資する基盤技術・基盤連携技術・基盤活用技術の提案

国立情報学研究所が構築・運用している学術研究プラットフォーム(ネットワーク、クラウド、認証、研究データ管理・流通・検索等の基盤機能からなる)の発展に資する基盤技術、基盤連携技術、基盤活用技術などに関する提案を募集する。例えば、次世代ネットワークアーキテクチャ、超低消費電力/低遅延/超高速/高信頼ネットワーク・システムアーキテクチャ、SINET/モバイルSINETを活用したデータ転送・収集・解析実証実験、認証基盤連携、クラウド連携(スパコン連携、IoT 連携、包括的運用管理等)、大規模/セキュアデータ収集・蓄積、研究データ基盤連携、に関する提案が挙げられる。

2. NII-SOCS のデータを活用したサイバーセキュリティ解析技術の提案

NII で行っているセキュリティ運用連携サービス(NII Security Operation Collaboration Services、NII-SOCS)で収集する、1 日 10 億件程度のマルウェア情報、統計処理化された攻撃情報をういた解析技術に関する提案を募集する。例えば、マルウェアの静的/動的解析と攻撃情報の照合による被害発生の状況と傾向を推定する技術、攻撃情報から被害発生が疑われる攻撃とそのリスクレベルを推定する技術、サイバー攻撃による影響を緩和する技術、攻撃検知センサーの情報を匿名化する技術等が挙げられる。

3. オープンサイエンス時代を見据えた大学における研究データ管理体制整備の提案

世界的なオープンサイエンスの流れにより、研究データの再利用可能性を高めることによる研究の加速や、機関のコンプライアンス確保に向けた研究データガバナンスの構築が求められている。第 6 期科学技術・イノベーション基本計画では、機関リポジトリを有する全ての大学等の 2025 年までのデータポリシー策定と、公募型の研究資金における 2023 年度までのデータマネジメントプラン(DMP)導入が目標とされ、国内大学においていよいよ、研究データ管理体制整備に向けて本腰を入れる必要が生じた。本テーマでは、大学が研究データ管理に取り組む上での課題や意義付け、戦略性、付随する学内外の制度、実効的運用を担保する体制、基盤導入や研究活動における応用など、大学における研究データ管理の導入方式に関する提案を募集する。

4. 研究資源としての「データセット」の構築と活用基盤の提案

研究用データセットとは、様々な社会的、制度的、技術的な制約を克服しつつ、研究者が共有できるように整備したデータで、使いやすく利用価値の高い研究データとして、その構築と利用環境の整備が重要な課題となっている。本テーマでは、研究用データセットの構築やそのための手法、あるいは上記の制約と共存可能なデータセットの共用基盤等に関する提案を募集する。例えば、共用可能なデータセットの整備・構築・高付加価値化、保護機能付きのデータセット共用基盤の構築、データセット共用のための制度設計等が挙げられる。

5. 社会の活動の効率化を実現する CPS/IoT サービスとシステム基盤デザインの提案

政府が掲げる Society5.0 の基盤として実世界と情報世界が融合した社会レベルのサイバーフィジカルシステム(CPS)の重要性が謳われており、実世界のセンシングで得た各種データの分析による社会の見える化や実世界へのフィードバックによる社会システムの効率化や新たな価値創造が期待されている。本テーマでは、様々な社会活動を対象とした斬新な CPS/IoT アプリケーション・サービス提案とそれを実現するための先端的 ICT システム基盤デザインに関する提案を募集する。この研究では、提供するサービスの定量的効果測定の手法やこれを可能とする CPS のシステム基盤の高度化(データ収集方式やデータ管理・分析基盤システム及び実世界へのフィードバック機構、そしてそれらの統合化とディペンダビリティの確保等)に関わる新たな課題の検討も含まれる。

6. 量子ネットワークの性能評価、ベンチマーク策定に向けた提案

量子ネットワークの性能評価は、完成された量子ネットワークのみならず、量子ネットワークの設計や完成前の進捗評価にも重要であるが、性能とはさまざまな観点から定義可能である。本テーマでは、どのような問題が量子ネットワークの実用性を評価するに適切であり、また、それをどの程度の処理速度や規模などのコストで解決することが望ましいかを明らかにし、量子ネットワークの適切な性能評価やそれを行うためのベンチマーク策定に貢献する提案を募集する。また、そのベンチマーク評価に基づいた、新しいアルゴリズムやプログラミング手法の提案も歓迎する。

7. AI の品質・トラストのためのエンジニアリング技術の提案

人間・社会や物理世界に深く踏み込んで動作する AI システムの社会実装が盛んに追求されている。これらのシステムでは、実世界での安全性や倫理・ガバナンスなど、より不確かで広い品質・トラストの保証が求められる。ここに大規模言語モデル・対話型生成 AI が加わることで、応用範囲が大きく広がる一方、品質・トラストの評価や改善を効率的・系統的に行うことがさらに難しくなっている。この問題に対し、ソフトウェア科学・ソフトウェア工学の技術や AI の技術を適合・発展させる提案を募集する。例えば、AI システムに対するリスク分析、不定形の入出力を扱う自動テスト生成、実行時監視などの技術を追及する。

8. 知識基盤の構築を加速する生成 AI と大規模言語モデルに関する研究の提案

機械学習を用いた画像生成や対話システムの普及により、生成 AI 技術への期待が高まっている。特に大規模言語モデル(以下、LLM)の発展は、自然言語処理において、自然な文章生成や文章の意味理解など大きな成果をもたらし、未解決課題の解決や知識の相互関連性発見など人間の認知限界を超えた知識基盤の実現が期待されている。本テーマでは、生成 AI や LLM について革新的な研究テーマを募集する。例えば、計算コスト削減とモデル品質向上を両立させる学習アルゴリズム、特定専門分野の推論性能を向上させるドメイン適応型の LLM、国産基盤モデルを含む多言語対応やマルチモーダル化、実世界操作への応用に関する研究開発提案などを期待する。さらに、生成 AI の汎化、創発性の数理的な原理解明、バイアス、ハルシネーションなどの現象理解と抑止技術など、知識基盤の創出につながる挑戦的な研究テーマも歓迎する。

9. 人間中心の AI 社会を実現するためのシンセティックメディアに関わる基盤技術の提案

顔、音声、身体、自然言語などの人間由来の情報を AI が学習し、本物と見紛うシンセティックメディアの生成が可能になりつつある。シンセティックメディアは、コミュニケーション分野やエンターテインメント分野を始めとした様々な分野で活用が期待されており、高品質なシンセティックメディア生成技術の確立が期待されている。一方で、シンセティックメディアの負の側面として、詐欺や思考誘導、世論操作を行う目的で、愉快犯や攻撃者が、フェイク映像、フェイク音声、フェイク文書といったフェイクメディアを生成、流通させる可能性があり、社会問題となっている。本テーマでは、人間中心の AI 社会を実現するために、顔、音声、身体、自然言語などの多様なモダリティを対象とした、シンセティックメディアの生成、不正な目的で生成されたシンセティックメディア(フェイクメディア)の検知、メディアの信頼性確保のための新規技術や手法に関する研究提案を募集する。

10. 多様なワークスタイルを支えるコミュニケーション支援技術の提案

コロナ禍を契機にワークスタイルの多様化がすすみ、多くの人は会社、自宅、レンタルオフィスなど様々な場所で勤務するようになった。その結果、人が協働する場は会社という物理空間にとどまらず、仮想空間と物理空間が混在した新たな空間へと移り始めている。このような状況においても人間の円滑なコミュニケーションをはかることは、豊かで創造力を涵養する協働の場を維持・発展させる上で重要な課題となっている。本テーマはこのような環境におけるコミュニケーション支援技術に関する研究提案を募集する。例えば、多様な通信環境においても間や場の雰囲気を保った違和感のないコミュニケーション技術、物理空間と仮想空間をシームレスにつなげるインタラクション技術、及びその評価等、情報学・情報技術の幅広い提案も含む。

11. 教育研究のデジタル革新を推進する技術や手法の提案

現在の我が国は少子高齢化やそれに伴う生産年齢人口の減少等の課題に直面している一方で、教育研究の水準は諸外国に比べ相対的に低下する傾向にある。こうした状況に対処するため、教育や研究のデジタル革新を推進する技術や手法に関する提案を募集する。本テーマでは、遠隔・オンライン教育の質をさらに高めるための要素技術、研究のリモート化・スマート化のための基盤技術などに加え、学習データを活用し学習支援を実現する革新的技術の提案や、実践的な研究、新たな発想に基づく手法の提案など、多様な課題の提案を求める。

「2026年度 国立情報学研究所公募型共同研究 申請書(様式1)」

記入要領

- * 様式1の電子ファイルに記載されたグレーの文字は削除し、黒字にて読みやすい文字サイズで記入してください。
- * 申請書の電子データ(Microsoft Word ファイル)を JROIS にアップロードしてご提出ください。
JROIS: <https://jrois2.rois.ac.jp/>

【1. 申請者(研究代表者)】

所属機関等名称: 所属機関・研究科・学部等まで記入してください。
年齢: 2026年4月1日時点の年齢を記入してください。

【2. 研究課題】

区分: 希望する区分を「■」で示してください。
「戦略」を希望する場合は、「戦略研究テーマ一覧(別紙2)」から研究テーマを選び、番号及びテーマ名を記入してください。

国際共同研究: 【9. 連絡担当教員・共同研究者】を参照し、**国際共同研究**(共同研究者に海外研究機関所属の研究者を含む共同研究)に該当するか否かを「■」で示してください。

※ 国際連携推進のため、共同研究者に海外研究機関所属の研究者を含む共同研究を推奨します。

研究課題名: **最大50字程度**で簡潔に記入してください。

【3. 機関の承諾】

- * 予め申請者(研究代表者)の所属する機関の承諾を得てください。
- * 所属機関代表者の承諾が難しい場合は、所属長等の承諾に代えて申請書を提出することができます。
その場合は、後日所属機関代表者が本共同研究を実施することについて承諾していることが分かる確認書を提出いただく場合があります。

【4. 研究課題の詳細】

- (1)～(6)の各欄について、具体的に記入してください。
- * 記載欄は適宜拡大して構いませんが、(1)～(6)で合計3ページ程度に収まる分量としてください。
 - * 各項目における内容が審査員に十分理解できる粒度で記述してください(記述内容が簡潔すぎ、その内容が把握・評価できない場合は、不採択になる場合があります)。

【5. 本プログラム採択実績／助成金応募実績】

(1) 本プログラム採択実績:

今回申請する研究課題に関連した課題が過去 5 年間に本プログラムで採択された実績がある場合は、その内容を記入してください。

該当する場合は【5. 研究課題の詳細】(4)、(5)で記入した課題の情報を必ず記入してください。

(2) 助成金応募実績:

過去5年間に本プログラムで採択された研究課題の成果を踏まえて、所属機関内部の助成金や外部機関が実施する競争的資金(科研費等)へ申請を行った場合は、その内容を必ず記入してください。

- * 複数の採択実績がある場合は、記載欄を適宜増やしてください。
- * 新しいものから順に、通番(1、2、3・・・)をつけて記入してください。

【6. 申請者(研究代表者)の研究業績】

記載欄は適宜増やしてください。

(1) 論文発表:

今回設定した研究課題に関連する過去5年間の主な論文について記入してください(5件以内)。

- * 新しいものから順に、通番(1、2、3・・・)をつけて記入してください。
- * 論文の筆頭著者(共同筆頭著者を含む)には氏名の前に「*」をつけてください。
- * 巻号数の他に掲載年の情報も記入してください。合わせて、発表誌が電子ジャーナルの場合は DOI や URL、冊子体の場合は掲載ページも記入してください。
- * 印刷物の提出は不要です。

(2) 学会発表等:

今回設定した研究課題に関連する過去5年間の主な学会等の発表について、記入してください(5件以内)。

- * 新しいものから順に、通番(1、2、3・・・)をつけて記入してください。
- * 発表情報が Web サイトに掲載されている場合は URL を記入してください。

(3) 関連業務従事歴等

論文及び学会発表がない場合は、関連業務従事歴等について記入してください。

【7. 共同研究経費】

区分ごとに経費の使用予定を記入してください。

- * 募集要項「**10.共同研究経費**」に記載の経費使用区分と注意事項を熟読の上、記載してください。
- * 申請内容と予算執行状況が著しく異なる場合には、研究経費として認められないことがあります。

【8. 連絡担当教員・共同研究者】

(1) 連絡担当教員:

- * 連絡担当教員については申請前に打合せを行い、メール等の記録が残る形式で必ず研究実施の承諾を得た後に申請してください。承諾を得たら、「連絡担当教員に研究実施の承諾を事前に得ました。」欄に「■」を記入してください。承諾を得ていないことが判明した場合は、採択を取り消す場合があります。

共同研究者を兼務: 連絡担当教員自身も共同研究者として研究に参加する場合は「する」を、連絡担当教員が直接研究に参加しない場合は「しない」を、「■」で示してください。

(2) 共同研究者:

NII の共同研究者、大学や企業の研究者・大学院生等を含め、参加予定者全員の情報を記入してください。

- * (1)に記載した連絡担当教員の氏名については、本欄への再記載は不要です。

E-mail: 本研究所からの連絡は、原則、連絡先の E-mail 宛にお送りいたしますので、必ず記入してください。

TEL: Eメールの代替手段として使用することがありますので、併せて記入してください。

海外: 海外研究機関所属の共同研究者については「■」で示し、所属機関の所在国名(または地域名)を記入してください。

＊ 該当する共同研究者がいる場合は、「2. 研究課題」の「国際共同研究」も「■」で示してください。

※ 大学の学部生及び高等専門学校の学士・准学士は共同研究者の要件に含みません。

※ 本研所以外の共同研究者については、各共同研究者の所属する機関が当該共同研究への参加及び本研究所の年報等へ公開を承諾していることを確認した上で記入してください。

(記入がされていることをもって、承諾しているものとみなしますので、予めご了承ください。申請者(研究代表者)も同様とします)。

【9. 申請にあたっての同意事項】

①～⑤の全ての事項について、同意した上で申請してください。これら全ての事項に同意する場合は、「上記事項に同意します。」欄に「■」を記入してください。

＊ 本欄に「■」が記入されていない申請は受理されませんので、ご注意ください。

＊ 申請者(研究代表者)は、当該研究課題に参画する全ての共同研究者(連絡担当教員を含む)が1～5の事項を順守するよう留意してください。海外の共同研究者に対しては、④、⑤の事項について対応する英語版の通読あるいは受講を可能な限り実施するよう要請してください。

【10. アンケート】

今後の国立情報学研究所公募型共同研究の管理・運営の参考とさせていただきたく、質問にご回答ください(複数回答可)。

なお、ご回答いただいた内容は採否には一切影響はありません。

以 上

2026年度 国立情報学研究所公募型共同研究 申請書

年 月 日

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構

国立情報学研究所長 殿

【1. 申請者(研究代表者)】

所属機関等住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市...
所属機関等名称	〇〇大学〇〇学部〇〇学科
職 名	教授／准教授／助教／研究員／...
(フリガナ)	(〇〇〇 〇〇〇)
氏 名	〇〇〇 〇〇〇
性 別	男 ☐ 女 ☐
年 齢	〇〇歳(2026.4.1 時点)
T E L	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
E - m a i l	xxxxx@xxxxxxxxx

【2. 研究課題】

区 分 (いずれかを選択)	☐ 戦略 ☐ 会合 ☐ 自由	
(戦略の場合は右欄も記入)	テーマ番号	戦略研究テーマ名
	戦略研究 テーマ番号	
研究課題名		
キーワード		
国際共同研究	☐ 該当 ☐ 非該当	

【3. 機関の承諾】

上記の貴研究所共同研究に申請することを承諾します。

機関名	〇〇大学
役 職	学長
氏 名	〇〇〇 〇〇〇

所属長等(機関の代表権限を持っていない者)の承諾にも代えられますが、その場合は、後日所属する機関が本共同研究を実施することについて承諾していることが分かる確認書を提出いただく場合があります。

【4. 研究課題の詳細】

※ 以下の(1)～(6)について、合計3ページ程度に収まる分量で記載してください。

(1)研究・会合の概要(サマリー)

(2)研究・会合の目的

(3)研究・会合の実施方法及び内容

(4)研究・会合の新規性及び独自性

(5)前年度公募型共同研究との関連(該当する場合のみ)

(6)研究・会合の期待される効果及び採択後の展望

【5. 本プログラム採択実績／助成金応募実績】

(1)本プログラム採択実績

通 番	
年 度	〇〇年度 第 〇 回
公 募 区 分 (いずれかを選択)	☐ 戦略 ☐ 会合 ☐ 自由
研究課題番号	
課 題 名	

(2)その他の助成金応募実績

通 番	
年 度	
競争的資金等名	
状 況 (いずれかを■ にしてください)	☐ 応募予定 ☐ 応募中 ☐ 採択 ☐ 不採択
申 請 者 名	
参 加 形 態	
研 究 課 題 名	
そ の 他 情 報	

【6. 申請者(研究代表者)の研究業績(過去5年間)】

(1)論文発表

通 番	
査読の有無(いずれかを選択)	☐ 有 ☐ 無
論 文 タ イ ト ル	
著 者 、 共 著 者 名	
掲 載 雑 誌 名	
掲載年・巻号数・掲載ページ	
機関リポジトリ掲載情報	☐ 掲載有 ☐ 掲載無
	(掲載有の場合は URL、DOI 等を記載してください)

(2)学会等発表

通番	
査読の有無(いずれかを選択)	☐ 有 ☐ 無
実 発 表 者 名	
共 同 発 表 者 名	
発 表 タ イ ト ル	
発 表 会 議 名	
主 催 者 名	
開 催 日 ・ 場 所	
発表スライド等の Web 情報	☐ 有 ☐ 無
	(有の場合は URL 等を記載してください)

(3)関連業務従事歴等

--

【7. 共同研究経費】

学会等参加費は「学会等参加に係る経費」に計上してください。

内訳

区分	内容	件数	金額	備考
旅費				
学会等参加に係る経費	「会合」は記載できません。			
論文投稿・掲載料等	「会合」は記載できません。			
その他経費				
合計	年間上限額: 戦略 … 120 万円（国際共同研究は 140 万円） 会合 … 80 万円 自由 … 80 万円（国際共同研究は 100 万円）			

【8. 連絡担当教員・共同研究者】

(1) 連絡担当教員 NII 所属の教職員を記入してください。

氏名	〇〇 〇〇			
所属 (いずれかを■に してください)	☐ 情報学 プリンシプル研究系	☐ アーキテクチャ 科学研究系	☐ コンテンツ 科学研究系	☐ 情報社会 相関研究系
職名	教授／准教授／助教			
共同研究者を 兼務	☐ する ☐ しない			
連絡担当教員に 研究実施の承諾を 事前に得ました。	☐			

(2) 共同研究者

※ (1)に記載した連絡担当教員については、当欄への記載は不要です。

(フリガナ) 氏名	所属機関・部局等・職名			年齢 (2026.4.1 時点)	性別	TEL・E-mail	
	所属機関・部局等	職名	海外				
(□□□□ □□) □□□□ □□	〇〇大学〇〇学部	〇〇 研究員	□ (国または地域)	〇〇 歳	☐ 男 ☐ 女	TEL E-mail	XX-XXXX-XXXX XXXXX@XXXXXXXXXX
			□ (国または地域)	歳	☐ 男 ☐ 女	TEL E-mail	
			□ (国または地域)	歳	☐ 男 ☐ 女	TEL E-mail	

【9. 申請にあたっての同意事項】

- ① 個人情報、公にすることが予定されていない情報等、情報の取扱いについては、法令等に従い、自らの責任において適正に行うこと。
- ② 上記の他、自らの研究を遂行するにあたっては、関係諸規程を遵守し、社会的に必要とされる措置を講じること。
- ③ 「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)」（平成19年2月15日 文部科学大臣決定、令和3年2月1日改正）を踏まえ、学術研究に対する国民の負託及び共同研究経費が国民の貴重な税金で賄われていることを十分認識し、共同研究経費を適正かつ効率的に使用するとともに、研究において不正行為を行わないことを約束すること。
- ④ 本共同研究開始前までに、下記事項を確実に実施すること。

i. 文部科学省が指定する研究倫理教育教材(科学の健全な発展のために－誠実な科学者の心得－日本学術振興会「科学の健全な発展のために」編集委員会)の通読(＊1)

ii. 一般財団法人公正研究推進協会(APRIN)提供研究倫理教育eラーニングの履修(＊2)
または「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」(平成26年8月26日文部科学大臣決定)を踏まえ、所属機関が実施する研究倫理教育を履修

iii. また、必要に応じて所属機関内の研究倫理審査委員会等において研究計画及び研究実施の承認を得ること。
(＊1)<https://www.jsps.go.jp/j-kousei/rinri.html>
(＊2)<https://edu.aprin.or.jp/>
- ⑤ 本共同研究開始前までに、所属機関が実施する安全保障貿易管理にかかる研修等を受講、もしくは経済産業省が公開している安全保障貿易に係る「大学・研究機関の教職員向けeラーニング」(＊3)を受講し、法令等に従うこと。
(＊3)<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/daigaku/el/elindex.html>

☐ 上記事項に同意します。

(上記すべての事項に同意する場合には上記の□を■にしてください。)

【10.アンケート】

1. 今回の公募をどのような方法でお知りになりましたか。該当するものについて□を■にしてください。

A. 国立情報学研究所の Web サイト

☐

B. 国立情報学研究所のメールマガジン

☐

C. X/Facebook 等の SNS (＊国立情報学研究所の公式アカウントに限りません)

☐

D. 所属機関内の掲示物等による広報・ポータルサイト等

☐

E. 学会の Web サイト・広報誌等

【

】

☐

(学会名をご記入下さい)

F. 研究費等の公募情報 Web サイト

☐

G. 国立情報学研究所の教員からの紹介

☐

H. 上司・同僚・友人・知人等からの紹介

☐

I. その他(右の欄に自由にご記入ください)

【

】

☐
2. 今回の公募に関してお気づきの点等がありましたら、ご自由にご記入ください。

【

】

☐

以 上

「2026年度 国立情報学研究所公募型共同研究 成果報告書(様式2)」

記入要領(案)

- * 様式2の電子ファイル内に記載されたグレーの文字は削除し、黒字にて読みやすい文字サイズで記入してください。
- * 成果報告書の電子データ(Microsoft Word ファイル)を JROIS にアップロードしてご提出ください。

JROIS: <https://jrois2.rois.ac.jp/>

【1. 基本情報】*必須項目

研究期間終了時(2027年3月31日)の情報を記入してください。

(1) 共同研究の種類:

該当する型を選択してください。

(2) 研究課題番号:

採択通知に記載された研究課題番号を記入してください。

(3) 申請者(研究代表者)

- 所属: 所属機関・研究科・学部等まで記入してください。

(4) 連絡担当教員(NII 所属)

- 共同研究者を兼務: 連絡担当教員自身も共同研究者として研究に参加した場合は「はい」を選択してください。

(5) 共同研究者

大学や企業の研究者・大学院生等を含めた参加者全員の情報を記入してください。

- * (4)に記載した連絡担当教員の氏名については、本欄への再記載は不要です。
- * 大学の学部生及び高等専門学校の学士・准学士は共同研究者の要件に含みません。
- * 記載欄は適宜増やして構いません。

【2. 研究・会合の成果】

(1) 概要 *必須項目

一般の方も分かる平易な文章で300～500字程度で記入してください。

※ 提供情報は国立情報学研究所年報をはじめ、各種広報物や研究内容の問合せ時に使用場合があります。

(2) 詳細 *必須項目

成果詳細について、具体的に記入してください。

- * 図表等を挿入しても構いません。
- * 別紙の参考資料として PDF ファイルを成果報告書に添付する場合でも、必ず本文も記入してください。
- * 別紙として資料を添付する場合は、本項「【2. 研究・会合の成果】(2)詳細」の資料であることが分かるファイル名を付してください。

(3)連携状況

研究打合せや研究会等の実施状況(日時、場所、参加者、内容等)を記入してください。

＊ 別途、実施後に作成した報告書等の添付に代えることもできます。

以下、項目 3.～5. 共通：

2027年9月～10月頃に追加調査を実施する予定ですのでご協力いただきますようお願いします。

＊ 新しいものから順に、通番(1、2、3・・・)を記入してください。

＊ 記載欄は適宜増やして構いません。

【3. 本共同研究をステップとした助成・競争的資金の応募状況】 ***必須項目**

本共同研究をステップとした、申請者(研究代表者)／共同研究者の所属機関内部からの助成や外部機関が実施する競争的資金(科研費等)への応募状況を必ず記入してください。

申請予定のものや不採択を含む結果発表済みのものまで、応募状況にかかわらず、全ての申請に関して記入してください。

翌年度弊所公募型共同研究に申請を行っている場合には、そちらの情報も記入してください。

参加形態：

記載の競争的資金における本公募型共同研究の申請者(研究代表者)の参加形態を記入してください(代表者、分担者、共同研究者等)。

その他情報：可能な範囲で記入をお願いいたします。

【4. 発表成果】

論文発表、会議発表について項目に則して記入してください。

＊ 論文発表には、会議予稿集、報告書を含みます。

著者、共著者名：筆頭著者(共同筆頭著者を含む)の氏名の前に「＊」をつけてください。

掲載年、巻号数・掲載ページ：

論文の巻号数の他に掲載年の情報も記入してください。

合わせて、発表誌が電子ジャーナルの場合は DOI や URL、冊子体の場合は掲載ページも記入してください。

【5. 産業財産権、実証実験・イベント実施】

本共同研究に係る特許等の出願、実証実験やイベントの実施等があれば記入してください。

【6. その他の成果・活動】

上記項目に該当しない活動内容等があれば記入してください。

【7. 今後の展望】 ***必須項目**

今後の展望について、共同研究の継続可否に関わらず記入してください。

* 「3. 本共同研究をステップとした助成・競争的資金の応募状況」において競争的資金等への応募がない場合は、具体的にどのように次に繋げるのか記入してください。

以 上

2026年度 国立情報学研究所公募型共同研究 成果報告書(案)

年 月 日

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構
国立情報学研究所長 殿

【1. 基本情報】(2027年 3 月 31 日時点) *必須項目

(1) 共同研究の種類
【☐戦略 ☐会合 ☐自由 ☐】型

(2) 研究課題番号
2026年度 公募型共同研究 研究課題番号【 】

(3) 申請者(研究代表者)

氏名	〇〇 〇〇
所属	〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科…
職名	教授／准教授／助教／研究員／…

(4) 連絡担当教員(NII 所属)

氏名	〇〇 〇〇			
所属 (いずれかを■に してください)	☐ 情報学 プリンシプル研究系	☐ アーキテクチャ 科学研究系	☐ コンテンツ 科学研究系	☐ 情報社会 相関研究系
職名	教授／准教授／助教			
共同研究者を兼務	☐ はい	☐ いいえ		

(5) 共同研究者

(フリガナ) 氏名	所属情報	
(□□□□ □□) □□□□ □□	所属機関・部局等	□□大学□□部
	職 名	教授
(▲▲ ▲▲) ▲▲ ▲▲	所属機関・部局等	▲▲会社▲▲部
	職 名	研究員
(〇〇 〇〇) 〇〇 〇〇	所属機関・部局等	〇〇研究所〇〇系
	職 名	〇〇研究員
(〇〇 〇〇) 〇〇 〇〇	所属機関・部局等	〇〇大学〇〇研究科
	職 名	准教授
(〇〇 〇〇) 〇〇 〇〇	所属機関・部局等	〇〇研究所〇〇研究系
	職 名	助教

【2. 研究・会合の成果】

(1)概要 *必須項目

(2)詳細 *必須項目

(3)連携状況

【3. 本共同研究をステップとした助成・競争的資金の応募状況】 *必須項目

通 番					
年 度	2026年度／2027年度				
競争的資金名	例：科学研究費助成事業 基盤研究(A・B・C)等				
状 況 (いずれかを■に してください)	☐ 応募予定	☐ 応募中	☐ 採択	☐ 不採択	
申 請 者 名					
参 加 形 態					
研 究 課 題 名					
そ の 他 情 報					

【4. 発表成果】

(1) 論文発表(会議予稿集・報告書を含む)

通番		査読の有無(いずれかを■にしてください)	☐ 有	☐ 無
論文タイトル				
著者、共著者名				
掲載雑誌名				
掲載年・巻号数・掲載ページ	電子ジャーナルの場合は、DOIもしくはURLも合わせて記入してください。			
機関リポジトリ掲載情報	掲載の有無(いずれかを■にしてください)	☐ 有	☐ 無	
	有の場合は、DOI／URLも記入してください。			

(2) 会議発表

通番		査読の有無(いずれかを■にしてください)	☐ 有	☐ 無
実発表者名				
共同発表者名				
発表タイトル				
発表会議名				
主催者名				
開催日・場所	国・地域・開催場所等まで記入してください。			
発表スライド等のWeb情報	情報の有無(いずれかを■にしてください)	☐ 有	☐ 無	
	有の場合は、DOI／URLも記入してください。			

(3) 表彰、その他

通番		案件名	
成果に係る事項			

【5. 産業財産権、実証実験・イベントの実施】

(1) 産業財産権(特許等)

通番		
出願・登録の別 (いずれかを■にしてください)	☐ 出願	☐ 登録
発明者		
権利者		
種類		
番号		
出願・取得年月日		
国内外の別 (いずれかを■にしてください)	☐ 国内	
	☐ 国外	国名：

(2) 実証実験・イベントの実施等

通 番	
実 施 年 月 日	
題 名	
実施内容・結果	
実 施 場 所	

【6. その他の成果・活動】

【7. 今後の展望】 *必須項目

以上

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構
国立情報学研究所長 殿

申請者（研究代表者）

申請日 年 月 日

所属

職名

氏名

共同研究者 追加・削除登録申請書

下記のとおり国立情報学研究所公募型共同研究に係る変更を申請します。

1.	手続き区分(いずれかを■)	☐ 追加		☐ 削除	
2.	研究課題番号				
3.	研究課題名				
4.	追加または削除を行う共同研究者 ※1	氏名			
		年齢	歳		
		性別 (いずれかを■)	☐ 男	☐ 女	
		所属	例：〇〇大学〇〇学部〇〇学科〇〇研究室		
		職名			
5.	本申請の 適用希望日 ※2	年 月 日			

以 上

* メールで kyoudou@nii.ac.jp 宛にご提出ください。

* 変更が複数名の場合には、対象者ごとに1枚、本様式をご記入・ご提出ください。

※1 共同研究者の要件は以下のとおりです。（募集要項より抜粋）

- ① 国内外の大学・短期大学・高等専門学校及び大学共同利用機関等に所属する研究者並びにこれらに準ずる研究者、大学院生
- ② 国内の民間企業等に所属する研究者

※2 本申請書の提出日以降の日付をご記入ください。

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構

国立情報学研究所長 殿

申請者（研究代表者）

申請日 年 月 日

所属

職名

氏名

研究者の 所属・職名 変更登録申請書

下記のとおり国立情報学研究所公募型共同研究に係る変更を申請します。

1.	手続き区分 (いずれかを■)	☐ 申請者（研究代表者）		☐ 共同研究者
2.	研究課題番号			
3.	研究課題名			
4.	変更が発生した 申請者（研究代表者） 共同研究者の詳細	氏名		
		変更前	所属	例：〇〇大学〇〇学部〇〇学科〇〇研究室
			職名	
		変更後	所属	例：〇〇大学〇〇学部〇〇学科〇〇研究室
職名				
5.	変更日 ※	年 月 日		

以 上

*メールで kyoudou@nii.ac.jp 宛にご提出ください。

*変更が複数名の場合には、対象者ごとに1枚、本様式をご記入・ご提出ください。

※ 人事異動等が発生した日付をご記入ください。

全体の流れ



